

平成30年度第3回尾張旭市男女共同参画審議会会議録

1 開催日時

平成31年2月18日（月）

開会 午前10時

閉会 午前11時20分

2 開催場所

尾張旭市役所南庁舎 3階 講堂1

3 出席委員

松澤裕子、三浦庄三、岡崎信久、谷山れい子、近藤真記、安井順子、松原しず、
田中広樹、永野博、山田恵子 10名

4 欠席委員

唐井富博、鈴木一平 2名

5 傍聴者

0名

6 出席した事務局職員

市民活動課主幹 西尾頼子、市民活動課男女共同参画係長 大津奈々子、
市民活動課男女共同参画係主事補 石川礼奈 3名

7 その他同席者

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 根本匠子

8 議題等

- (1) 第2次尾張旭市男女共同参画プラン中間見直しに係る市民意識調査結果について
- (2) 第2次尾張旭市男女共同参画プラン中間見直し骨子案について

事務局 (主幹)	<p>皆様、本日は、お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。市民活動課主幹の西尾と申します。</p> <p>ただ今から、平成30年度第3回尾張旭市男女共同参画審議会を開催いたします。終了は午前11時30分頃を予定しております。</p> <p>本日は、唐井委員、鈴木委員より欠席の連絡をいただいております。本日は10名の委員の方に出席いただいております、1名の委員は遅刻されるという御連絡をいただいておりますことを報告いたします。</p> <p>尾張旭市男女共同参画審議会規則第4条第2項の規定する過半数の出席を得ておりますので、本審議会は成立しておりますことを、まずもって御報告申し上げます。</p> <p>また、本会議は、市の「附属機関の会議の公開に関する基準」に基づき、傍聴を認めていること、また「附属機関の会議録等作成に関する基準」に基づき、情報公開の対象となりますことも、あわせて御了承ください。</p> <p>それでは、会議開催にあたりまして、尾張旭市男女共同参画審議会会長の松澤裕子様より、御挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p><挨拶></p>
事務局 (主幹)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に、資料の確認をお願いいたします。</p> <p><資料の確認></p> <p>お持ちでない方は、お申し出ください。</p> <p>本日は、プランの中間見直しに関する支援をお願いしております株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の根本様にも出席をしていただいております。</p> <p>以降の議事進行につきましては、当審議会の会長であります松澤会長をお願いいたします。</p> <p>松澤会長、よろしくをお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、議事に移ります。次第2 報告「第2次尾張旭市男女共同参画プラン中間見直しに関わる市民意識調査結果について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (係長)	<p><説明></p>
議長	<p>ただいま事務局より報告がありました。レイアウト等は変更することが可能です。プランを見直すにあたりこの数値を参考にしていきたいと思っております。</p> <p>委員の皆様にはこの報告書を事前配布しましたので、お目通しをされて、いくつかお気づきになった点があると思っております。私の方から、「最も高い数値の誤りが若干あった」ことは事務局に事前に指摘させ</p>

	<p>ていただきました。</p> <p>他に2点指摘した部分があります。まず、1点目として、51ページ「問23あなたは、DVを受けた経験がありますか」の調査結果について、DVの被害にあったことがあるという方は男性8人・女性19人であり数としては少ないので、安易に%での報告をしないほうがよいことを伝えました。</p> <p>2点目として、38ページに、前回（平成25年度）調査との比較の概要として、『「男女がともに育児休業、介護休業を取りやすくする」が増加しています。』とありますが、他も増加しているので「最も増加している」と修正することをお願いしました。</p> <p>他に意見や質問はありませんか。</p>
永野委員	<p>全国と比べて、尾張旭市民は「女性の活躍」を後押したいという気持ちが低いということが調査結果で分かりました。これからのあるべき姿は、男女が共同参画をする世の中を作っていくことなのですが、尾張旭市はまだまだ保守的であると感じました。また、女性としては、男性が家庭に参加してほしいと思っていることも分かりました。</p> <p>市民や企業に対して、男女平等についての働きかけ、男女共同参画に関する情報提供や相談の場を充実することを、これからは具体的にどう取り組むのかを提示していく必要があると思います。</p> <p>住民ひとりひとりが、どのようなことを行ったらよいかについても踏み込んで考える時期になってきたのだと思います。</p>
事務局 (係長)	<p>具体的にどのように踏み込んでいくべきかを行政として考えていかなければならないと思っています。市民や企業に訴えかけてはいますが、訴えた先の人により伝わりやすい方法は何か、その人の行動にどう繋げていけるのかを考えていければと思います。情報を発信することは簡単なのですが、具体的にその先へ繋がっていくということは非常に難しいことだと感じています。</p>
永野委員	<p>例えば、女性が介護などで休暇を取らなければならなくなった時、介護休暇の取得を推進するために、市役所職員と実際に企業で働いたことのある審議会委員が、一緒に企業に赴くのもいいのかもしれない。</p>
田中委員	<p>3ページ(2)家事・育児などに関わる平均的な時間の最後の行に「家事・育児などに協力する男性が増えつつあります」とありますが、「協力する」という表現は、家事と育児が女性主体だと示しているように感じるので、「携わる男性」にしてはどうでしょうか。</p>
永野委員	<p>主に男性が家事・育児を担っている場合もありますね。</p>
事務局 (主幹)	<p>確かに「協力」だと女性がメインで行い、男性が協力すると捉えることができます。「携わる男性」は、男女共同参画にとって適切な表現と考えますので、修正させていただきます。他にもそのような表現がないか確認をします。</p>

近藤委員	全国的にみて尾張旭市がどうかというのをもっと謳わないと、市民の意識が上がらないと思います。前回と比較するより他市との比較があると市民の意識が向上するのでは。全国平均と比べて尾張旭市はどうかをもっと突き詰めていく必要があると感じます。前回との比較だけだと「良くなっている」だけで終わってしまうと思います。他市と比べるのは難しいですか。
事務局 (主幹・係長)	愛知県との比較はできます。他市との比較は、同じ設問で近隣の市町が同じ調査をしていると比較は可能ですが、少々難しいかもしれません。
近藤委員	近隣市町との比較があれば市民の意識も変わると思います。
事務局 (主幹)	そのような比較のできる方法がないか、一度調べてみます。
谷山委員	他市との比較について質問ですが、他市が実践的に行って良い結果が出たイベントや方法などの情報は、市役所には入ってこないですか。実際に行ったものを他市と比較することも良いかと思いました。 また、男女共同参画に関して、講演会や広報など実践的なことをして良い結果が出た、という情報を市民に知らせることや、DVを受けた時の相談場所など、相談先を知らない人が多いと感じるので、周知ができればいいなと思いました。
事務局 (係長)	DVに関することについては、相談窓口の認知度が上がっていないという結果と、昨年から審議会でご意見をいただいていることを踏まえ、名刺サイズの「DV等相談先啓発カード」を作成し、近々完成予定です。 カードには県や市などの相談窓口の電話番号を記載しました。また、県の男性DV被害者相談の窓口も載せています。このカードをきっかけに、相談窓口の認知度が高まっていけばと思います。
谷山委員	何かアクションを起こしていかないと伝わっていきません。
事務局 (係長)	結果がなかなか見えにくい分野ですが周知していきたいと思います。
岡崎委員	6ページ「(12)10年間の男女共同参画の進行度」の最後の行に「認識が十分に浸透していない現状がうかがえます」と言い切るのは疑問に思います。 昨今は父親が育児をする姿をよく見かけますし、育児に対する男性の意識は昔より進んでいると思います。意識せずに一緒に育児等を男性が行っている部分もあるので、言い切ってしまう方が良くと思います。
事務局 (主幹・係長)	頂いた意見を参考に、育児に積極的な男性も表面化にいるということも考えたうえで、表現を検討させていただきます。

永野委員	たぶん、認識が十分に浸透していないのは高齢の人だと思います。例えば、「若い世代においては浸透してきたけれども、高齢の人には浸透が難しい」としてはどうでしょうか。先ほどの一文だけだと、岡崎委員の意見のような捉え方をする人もいると思います。
議長	分からないが減っているということですよ。進んだ、進んでいないが共に増えているということは、認識が高くなっていることだと思います。
谷山委員	無意識で男性が育児に参加しているということですよ。今の子育て世代は、母親が外に出たら父親が面倒を見ることを目の当たりにしていることが多いと思うので、意識してやっているわけではなく、男女共同が当たり前になってきていると感じます。
永野委員	学校で男女共同参画に関することはやっていますか。
議長	教育現場では、男女共同参画推進条例が子ども向けに簡単に書かれたものを配布しています。
永野委員	内容としては、「男女が一緒にやっぺいこうね」ということですよ。
松原委員	子ども向けは分かりやすく書かれていますね。シニア世代など、各世代向けに書かれたものがあると理解しやすいと思います。また、今の子育て世代は、男性が赤ちゃんのおむつを定期的にかえたりしていて、男女共同参画が浸透してきていると感じます。
山田委員	<p>全国と比較して尾張旭市は保守的な意識を持つ人が多いと感じました。男性に古典的な考えの人が多いという調査結果にもとれるかもしれません。</p> <p>先ほど、38ページで前回（平成25年度）調査との比較について整理して説明されてはどうかとの御意見がありました。</p> <p>尾張旭市は名古屋市のベッドタウンで、共働きをしている人も多くいると思いますが、祖父母からの支援が充実しているように感じます。</p> <p>また、住宅も戸建が多く、休日は男性が子育てをしているのを見かけます。全国的に比べて意識が低い地域ではあるものの、尾張旭市は住みやすいまちでもあるということの説明してもいいのではと思いました。</p> <p>働くか・働かないかだけではなく、短時間労働で仕事と子育てを両立したい人もいます。1歳になるまでは自分で育てたいので仕事を辞めるのですが、1歳になったら保育所に預ける、または小学生になったらパートしようと考えている女性もいます。単純に意識があるなしではなく、尾張旭市は個人のライフステージに沿った環境がある程度整っている中で、意識的にはまだ全国的には緩いところがあり課題は残るといふ、持っていく方にした方がいいと思います。祖父母世代も子どもの面倒をよく見ていると思いますし、ここの土地は昔ながらの良さもありつつ、今、女性が社会に進出していくところを支えていこうとも思っていますということと、それはいろんな人たちに共助や互</p>

	助等の様々な考え方があると思いますが、支え合いながらやっという方向で説明できた方がよいと思います。
事務局 (係長)	この報告書ではページ数の制限があるので、そこに入れるのは難しい面もありますが、今回議題としている骨子案の中で、尾張旭市の良い部分を入れていけることができればと思います。
山田委員	例えば、各年齢層の割合や核家族世帯数などを書いてみてはどうですか。良くない部分だけ出すのではなく、良い部分を出しつつ、「本市の課題としては」と伝えていった方が、市民から改善策が出やすいのではないのでしょうか。
議長	今の意見は骨子案の方で反映させていくこともできます。他に意見がありましたら事務局まで御連絡ください。 では、次の次第 3 議題「第 2 次尾張旭市男女共同参画プラン中間見直し骨子案について」事務局より説明をお願いします。
事務局 (係長)	<説明>
議長	ただいま、事務局より説明がありました骨子案についてですが、審議会で見えていくこととします。今回は中間の見直しなので、現在のプランの幹となる部分は残しつつ、社会情勢等の変化により変えていくべき部分があります。この骨子案の内容やレイアウトについて、それぞれの所属団体としての意見や、ここ最近の社会情勢等を踏まえた意見をお願いします。 先ほど山田委員の意見にあった世帯構成は骨子案に入っています。
山田委員	質的なデータはとれていないので、伝えられる限界があると思います。年齢別の男女比や核家族や 3 世帯とか、保育所の数、子育て支援センターの数、学童保育が学校ごとにどれくらいあるか等をいれて、尾張旭市としても人口比に対して、子育て的な支援をしながら女性の社会参画を応援しているところも説明できたらよいのかなと思います。
事務局 (係長)	見直しなので入れることは難しいかもしれませんが、一度検討します。
岡崎委員	見直しの骨子案はどのように開示していくのですか。この計画を作った後はどのように市民に周知するのですか。
事務局 (係長)	骨子案の状態での開示はいたしません。来年度に素案についてパブリックコメントを行い、その後決定したものをホームページで公表していく予定です。
岡崎委員	このままの形で公表されるわけではないですね。
事務局 (主幹・係長)	そうです。骨子案、素案と、審議会でごさまの御意見を伺い、その後の固まったものに対して、パブリックコメントで意見をいただくところまでは公表はしません。

永野委員	これは第2次ですよ。第2次が終わり、第2次の見直しがあり、第2次が終わった段階で、第3次をスタートするときに全部網羅したものが新たに出てくるのですよ。
事務局 (主幹)	そうです。第3次の際は、また市民や企業等に意識調査などを行い、様々な意見を取り込んで、第2次と変えた形で第3次は策定する予定です。 今回は中間見直しなので、ある程度基本的なプランのものを抽出しながら、社会情勢等を踏まえ変えるべき部分については見直しをしていきます。
永野委員	男女共同参画に関して、当たり前前に継続して行うべきことは残し、それに加えていくことですよ。
岡崎委員	先ほど松原委員の意見に世代別の冊子があったらよいとの意見がありました。このタイミングで世代別の冊子を発行することもひとつの策だと思います。見直すことも大切ですが、いかに市民に周知していくかに起点を置かないといけません。そのような部分にお金をかけていってはどうでしょうか。
事務局 (主幹)	子ども向けの冊子を既に作っていますが、各年代に向けてのものを作成していくことも検討する必要があると思うので、考えていきたいと思っています。
永野委員	是非やってほしいです。
三浦委員	5年間で今の世の中は非常に変化します。この中間見直しはどう考えた方がいいのか分かりません。中間見直しということですが、しっかりと見直すべきです。
事務局 (係長)	しっかりと中間見直しをしようと思っております。中間見直しなので軽く見直せばよいただけと思われがちですが、第2次プラン策定後、LGBTや女性の活躍推進についてテレビの特集が組まれるなど、世の中が非常に変わってきたという印象は持っています。しっかりと見直しをしますが幹だけは残していきたいです。審議会委員の皆さまの御意見をいただきながら進めていきたいです。
岡崎委員	状況的には働き方改革関連法案が通り、来年度から様々なことが動き出し、有休休暇取得の義務化がされ、仕事をしたくても会社に行けない状況になってきています。5年で見直しではなく、その都度の見直しが必要なのでは。
事務局 (主幹)	今回は第2次プランを策定する段階で中間の5年で見直しをするということでした。第3次の計画を策定する段階で中間見直しの時期についても審議会や委員の皆様の御意見を伺いたいと思っています。
岡崎委員	プラン自体が10年とすべきなのかも検討した方がよいですね。
議長	近年の社会情勢を反映させ、女性活躍推進法や多様な性への配慮ということで、「誰もが」という表現に変更し、介護や高齢化などのポイ

	<p>ントも踏まえた見直しになっていると思います。</p> <p>他に意見はありませんか。</p>
永野委員	<p>この審議会の委員に外国のかたを入れてはどうでしょうか。新たな発想が得られるかもしれません。</p>
事務局 (係長)	<p>何かの機会があれば外国のかたからの意見も伺ってみたいです。</p>
山田委員	<p>多様な文化ということに繋がりますね。</p>
事務局 (主幹)	<p>外国のかたの意見を入れることは可能かもしれませんが、様々な国の人から御意見を伺いたいのので一度検討してみます。</p>
永野委員	<p>市民意識調査の結果から、「尾張旭市は住みよい」ということを書けるとよいと思いますが、男女共同参画についての調査なので、そのような文言は謳えないでしょうか。</p>
ジャパン総研	<p>この結果では「住みよい」ということまでは読み取ることができないと考えます。</p>
永野委員	<p>もし、そのようなデータが欲しいのならば、別の機関か、もしくは別の仕組みで調査するということですね。</p>
事務局 (主幹・係長)	<p>市のまちづくりアンケートで出ているものがあれば、取り入れることは可能かもしれませんが、そういったものも出ていないとこの報告書の中に入れることはできません。</p>
永野委員	<p>分かりました。</p> <p>資料1の9ページ、回答者属性についてですが、去年までは「女性・男性・不明」でしたが、今年は「女性・男性・その他」とありますが、これは多様な性に反映した表現なのですか。</p>
事務局 (主幹・係長)	<p>そうです。「その他」としたのはベストではなかったかもしれませんが、性別を答えたくない人や自分では分からないという人が○を付けてくださったと思います。</p>
谷山委員	<p>自治連合協議会の永野委員にお尋ねしたいのですが、地域で女性が出てくる人数や女性役員について地域性を感じることはありますか。</p>
永野委員	<p>地域差はあります。</p>
谷山委員	<p>尾張旭市では、まだ地域性が残っていると思いました。</p>
永野委員	<p>若い人がいるから女性が地域活動に沢山関わってくれるかといったら逆です。若い女性は仕事があります。夫が定年して妻もそれなりに食べていけるような環境の女性が地域に出てきます。子育てが終わると、長期的に頼んでも受け入れてくれる女性は多く、役割を担うことを前向きに考えてやってくれています。</p>
谷山委員	<p>これからは防災についても女性にお願いする必要がありますね。</p>
永野委員	<p>自治連合協議会の立場の人から多くの人に声掛けをしています。私の地域では女性が活躍しています。</p>

山田委員	骨子案1 ページ1 行目に「少子高齢化」とあるのですが、「超高齢社会」と世の中では言われているので、「化」ではなく、「少子高齢社会」に修正してはどうでしょうか。
事務局 (主幹)	表現については検討します。
議長	他に意見があれば事務局まで連絡をお願いします。本日いただいた意見を参考にしながら事務局で骨子案をまとめていただきたいと思います。 それでは次第4「その他」に移ります。事務局よりお願いします。
事務局 (係長)	2点連絡があります。1点目は、前回の審議会で示したスケジュールでは、今回の審議会で2次プランの進捗の御確認をしていただく予定でしたが、来年度の審議会で御審議いただくことにいたしました。各課の事業や新たに追加する事業について現在、取りまとめを行っており、来年度から検討していきますのでどうぞよろしくをお願いします。 2点目ですが、今年度の審議会は今回で最後となります。中間見直しの最中ですので、来年度も引き続き皆様にはこの審議会の委員をお願いしたいのですが、御都合により交代される人もいらっしゃると思います。今までお力添えをいただいたことに感謝申し上げます。 来年度の審議会の開催についてですが、第1回は7月下旬を予定しており、例年行っている施策についての評価と、基本目標について中間の評価を行います。 第2回は8月下旬を予定しており、見直しプランの素案について御審議いただきます。 8月末で一旦、全員の任期が満了となります。その後、10月と1月に新たな体制で審議会の開催を予定しています。なお、第1回、第2回の開催の詳細については、早めにお知らせいたしますので、よろしくをお願いします。
議長	では、以上をもちまして、平成30年度第3回尾張旭市男女共同参画審議会を終了させていただきます。 皆様、お忙しい中ありがとうございました。